

12月18日(土)の午前、立山町元気交流ステーション「みらいぶ」で、町が今後整備を予定している防災センター・多目的ホール・児童館・新子育て支援センターなどの複合施設をみんなで考えいっしょにつくるワークショップを開催しました。参加者は、高校生や大学生をはじめ町民のみなさんや近隣市町の方々、運営スタッフも含め38人でした。

初回となったこの日、まずは設計チームからプロポーザル時の提案内容や今後のスケジュール案などを聞いたあと、参加者同士が仲良くなったり、話しやすい雰囲気づくりのための「ときほぐし」で場が一気にブレイク。休憩を挟んで後半は、グループに分かれて「こんな施設になったらいいな!」のアイデアや「私、こんなことでならお役に立てます!」を披露し合ったあと全員で発表共有。朝降った雪も溶けるほど、参加者の熱い思いがあふれる楽しい会となりました!

キックオフ! 仲間づくり&気持ちづくり

1 設計チームより プロポーザル案の紹介

私たちの想い・考え方

- 多世代が集い、憩い、語らう交流の拠点に!
- 交流・出逢いの場となる「大きなハコ」の中に活動の場となる「小さなハコ」を点在。それぞれが連鎖していくようになれば...



この案は決定したものではありません、町が施設の設計者を選定する際に私達が提案したものを、これから、みなさんと一緒につくっていきたくと思います!



設計チーム たかさより、プレゼンテーション

デザイン

- 建物は立山の風景に自然に溶け込み、町民の姿、活動が映る大きなエンガワのようなデザイン。
- 将来建て替える予定の新庁舎を含めた全体のデザインを意識したい!

児童館・新子育て支援センター

- 図書コーナーを中心として、各部屋がゆるやかにつながるように。木製パネルや家具を動かすことで活動に応じた大きなスペース、小さなスペースを生み出せるよう工夫!
- 未就学児、低学年それぞれの広場をつります。



防災センター・多目的ホール

- 災害時に避難所となる防災センターは、普段は多目的ホールとして活用します。可動席として、いろんな使い方ができるように。
- ホール両側の間仕切りを開放すると、拡張して利用可能に。内と外がつながるようにしたいです。
- 近隣市町村の施設と棲み分けることで稼働率を高めたい。また徒歩圏内の施設との棲み分け、連携も考えていきたい。



屋外空間

- 雁木空間「まち回廊」にユニバーサル駐車場を配置。濡れずに建物へ入れるように。将来は新庁舎ともつながります。
- 屋外は、祝祭(イベント)空間や防災広場となるようしっかり整備。



スケジュール

- 令和3~4年度で基本設計と実施設計、令和5年に建設、令和6年5月のオープンを目指して進めていきたいと思っています。設計と建設の期間中にワークショップを継続開催していき、まちづくり、新庁舎の計画にもつながっていくといいな、と考えています!

●●●● シール投票の結果報告 ●●●●

新しい施設で何がしたいか、ニーズ調査を町内の各所で実施。なんと1,487枚ものシールを貼っていただきました! 多かったのは、コンサート、映画を見る、体を動かす、スポーツ、ゆったりとお茶やおしゃべりをしたいという意見。防災キャンプができるといいという意見もけっこうありました。イベントを企画してもいいよ! という声もたくさんいただきました!



2 アイスブレイク

簡単なゲームなど、参加者同士の心の距離感がちょっと近くなるアクティビティを通して、話しやすい雰囲気づくりを行いました。



みんなの顔が一度に見渡せるくま座からスタート！



誕生日順に並び替わり席をシャッフル！



ペアになって、似顔絵名札づくり～2分で自己紹介



相手の目を見て
耳を傾けて
心に刻む
「傾聴」が大事！



ファシリテーターの
タケゾー

3 バストーク（座談）

8グループに分かれ、「こんな施設になったらいいな！（ブルー）」や、「私、こんなことでならお役に立てます！（ピンク）」をふせんに書いて紹介。最後に全員で発表共有しました。

こんな施設に なったらいいな！	多世代が 集う	出会いがある	気軽に 立ち寄れる	ゆっくり くつろげる	カフェ 飲食ができる	図書館 本が読める
--------------------	------------	--------	--------------	---------------	---------------	--------------

勉強 スペース	室内の 遊び場	子どもが 体を動かせる	スポーツ 健康づくり
子育て支援 一時預り	小さなイベント がたくさん	季節の イベント	音楽イベント 映画会
展示 発表会	フリー マーケット		
おしゃれ カッコイイ！	立山の PR 観光の拠点		

発表・共有

Aグループ 年齢や職業に関係なく、みんなが集まれる場所に！そのためにいろんなイベントを定期的で開催できるといいという意見がたくさん出ました。

Bグループ カフェと子どもの遊び場について、たくさん意見が出ました。また、時間を気にせず散歩したい、ヤギを飼って雑草を食べてもらうというアイデアも！

Cグループ ライブで施設を盛り上げたい！カフェがあるといい！防災教室ができるといい！子どもが遊べる！お泊り体験もできるといい！

Dグループ イベントを開催しているんな人が集える楽しい施設にしたいという意見で全員が一致。そして全員がイベントを手伝います！と書きました！

Eグループ 地域の音楽イベント、まちなかグランピング、カフェ、各地区の活動の情報共有のため気軽に集まれる拠点に！災害用ヘリポートも…など

Fグループ 子どもからお年寄りまでたくさんの人が集まれる憩いの場、くつろげる場、出会いの場という意見が、全員の共通した意見としてたくさん出ました。

Gグループ 人が集まる場所、立山町の中心となるスポットに。食べたり飲んだりしてゆっくり話ができたり、気軽に立ち寄れる図書館、カッコイイ施設に！

Hグループ 時間つぶしにふらっと気軽に立ち寄れる。そのためにカフェやレストラン、雑貨を売るオープンテラス、子どもが遊べる広いスペースや遊具等も…



私、こんなことでならお役に立てます！

運動教室できます／キャンプの火起こしのレクチャーできます／雄山高生（生活文化）と共同の料理教室／防災イベントの企画運営／バンスポールエクササイズ／産後ケア／一時預り、見守り／図書コーナーつくれるよ／おはなし会ができるよ／手遊び、ダンス、ペープサート／イベントの手伝い／焼きそば作り／データ集計得意です／長距離の運転できます／大型車運転／写真撮ります／音響等／情報発信／学校の先生の意見を聞く／ママ目線のご意見番／航空コンサルとして関与できる／アマチュア音楽団体さんご紹介できます／県内のカフェならけっこう知ってます／たくさん笑って明るい雰囲気づくり など



アンケートより

非常に楽しい時間でした！／ワークショップの内容、進め方などがたいへんおもしろかった／町外の方々や学生さん、他県から移住された方など、いろんな視点から複合施設に求める生の声が聴けて良かった／若い世代の方が多く、町を変えていく、自分たちでつっていきたい！という強い意志を感じてうれしくなった などなど

立山町役場 企画政策課（中川・牧田）

☎: 076-462-9980（直通）

✉: kikaku@town.tateyama.lg.jp